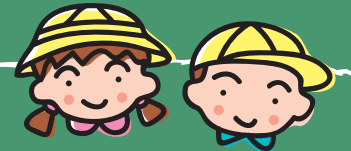


ほく
の
ゆめ



さかい しんや くん
(山田中央保育園・5歳)

大きくなったらサッカーの先生
になりたいです。じょうずになっ
て、みんなに教えてあげるんだ。

山田よいとこ好きな町 (13)

あの戦争で、国のため、愛する故郷や家族のために、何百万人の方々が命をささげた。やがて、天皇の「耐え難きを耐え、憊び難きを憊び」の詔勅により終戦を迎えた。幸い彼は無事で、夢にまで見た愛しい祖国へ帰国できた。今は「思い出お不動さん」を歌いながら2人そろって毎年、ご縁日詣をしているそうです。あの悲しくも愚かな戦時に咲いた若い2人の恋物語でござんす。

めでたし、めでたし、どっと笑えー。

ところで、ぼく自身もお不動さんのご縁日に小屋出しをしたことがある。スルメを干す時に使う長い棒(山田ではハセギという)をたくさん運び、物好きに手慣れた男2人を雇い、よその小屋より何倍もある出店を建てた。家内のほかに女性3人がクルミやゴマもちなどを作り売り出した。いろんな売店が立ち並ぶ狭い参道は喜びはしゃぐ子供を連れた家族づれの参拝客であふれ、剣舞や神楽のお囃子でにぎわい、もう、ワクワクした気分だ。

わが小屋でゴマもちを食べていたおばあさんに、うちの女たちが「こんたにゴマいっぺえ付けるもんでねえ、もちのうわつらだけさ塗るもんだ」と言われた。よその店に行って見てみたら、なるほど、表面にだけさっと塗られていた。おばあさんは「こんなに塗だぐったらもうけにならながべ〜」と親切に言ってくださったが、うちの女性たち、客がうまいうまいと喜んで食べてくださるのが嬉しくて、ゴマもクルミもごっそり塗だぐっていた。もうけなど気に掛けなくて、おいしがるお客の喜びに満足したお不動さんの出店だった。若き日の思い出のこまが懐かしくよみがえる。

(つづく)

ペンネーム・山田北州 (山田・87歳)



ぼくじゅう戦隊ホワイト1



LLR2(?)



ゼロ零(12)



神崎(12)



川野美穂(11)

平泉の世界遺産登録に観光効果期待

平泉町の春の藤原まつりの記事が新聞紙上に大きく掲載され、観光客の出入は、昨年より1万6,000人も多い18万2,000人だったと報じられていた。岩手の観光行事のひとつであるこのまつりは、いわずとも知れた全国に引けを取らない大イベントだ。県観光協会の佐藤理事長は、先日の新聞紙上で、これまでにない誘客効果が期待される平泉文化の世界遺産登録を「逃がす手はない」と好機を力説している。その一方、陸中海岸魚彩王国実行委員会では、4月から平泉と宮古を結ぶバスツアーの運行を始めたとのこと。岩手の内陸部と沿岸部を観光面で連携させる構想を示していた。

わが山田は海産物の宝庫。ワカメ、アワビ、カキ、ホタテなど、数々の海の幸がある。先日のカキまつりを振り返ってみても、町内外はもちろんのこと県外からも多数来場したとあって、私たち町民は好感が持てた。本町の未来に向けた観光客誘致も決して夢ではない気がする。

齋藤忠雄 (船越・82歳)



Add(15)



堀合絹花(9)



月神(12)



姫神(9)



言葉より大切なもの(19)



糠森玲音(6)



平野アヤノ(12)

ズスパリの花に心動かした遠い日

野山では、若葉の美しさや鳥の音が…。田植えどき、早苗田に映る家々や白い雲、山なみの風景を、一風変わった自然の野の絵画展と決めて、しばしあぜ道にたたずみ満喫した。ふと足元を見ると、黄色く小さいズスパリ(ジシバリ)の花。子供のころ、畑に行くと「ズスパリはやせ地におがんだ一よ」と母から教えられた。畑にとっては厄介な雑草でも、根を張り咲いている可憐な花。その心を自分にも写したいと、60数年前に心動かしたものです。

菊地サカエ (織笠・73歳)

やまだ文芸広場

香しき若松生けて手探りに
結ぶ水引心新たに

菊地 孝進 (船越・86歳)

演習で隊長務め訓練を
無事つとめあげ郷里に誇示す

大川ヒメ子 (大沢・63歳)

火防祭華やかな衣装身に付けた
孫追いかけてカメラを向ける

大町テイチ子 (大沢・?歳)

山里にひとり住まんと思えれど
なぞ訪ね来る呼子鳥

菊地 輝雄 (山田・87歳)

少子化で二人切ったおらが町
佐藤 兼男 (荒川・81歳)

火災報知機の設置に行政の支援を

5月10日の朝のニュースで火災報知機の設置の義務化についての報道があり、それによると、設置は個人が行い、消防署に届け出て確認を得るという事でした。

設置の義務化は大変良い制度であると思いますが、個人で設置するとなると、われわれ素人ではどのような物を選んでよいか分かりづらい面があります。また、お年寄りの家庭などでは、悪徳業者に引っかかり法外なお金を取られることがないかという心配があります。

設置を義務付けるならば、下水道工事のように町内の電気業者を指定するとともに、回覧板で住民への説明と連絡の徹底を図るなどして安全な器具を推奨してもらいたいものです。また、工事終了後の届け出を業者が一括して行うことより、届け出を忘れることも無くなり、住民サービスとして一石二鳥になると思います。

どうか行政のご一考をお願いいたします。

西館 隆 (船越・?歳)

【回答・山田消防署】

消防署などの公的機関では、具体的に業者のあっせんや指定をすることはできませんが、町内の取扱店には届け出用紙を配布し、取り付けの依頼に対応していただくようお願いしてあります。購入する機種については、安心してご利用いただくため、日本消防検定協会が技術基準に適合していることを証明する「NSマーク」が張られているメーカーのものをお勧めします。



NSマーク
日本消防検定協会

悪質訪問販売については、町内での情報が寄せられた場合には防災行政無線により放送するなどしてお知らせしており、特に高齢者の1人暮らし世帯については、消防署員が防火指導に合わせて注意を呼び掛けています。

なお、これから新築する住宅には必ず住宅用火災報知機を設置しなければなりません。また、現在建っている住宅に対しての設置期限は平成23年5月31日となっております。

消防署では、今後も町内の防災団体や広報紙を通じて住民の皆さんへ情報を提供していきたいと考えています。不明な点は山田消防署(☎82-3139)へお問い合わせください。

◆投稿規定 ▷住所、氏名、年齢、電話番号を明記。ペンネーム、匿名での掲載を希望する方はその旨をさらに付け加えてください▷住所、氏名が記入されていないものは掲載しません▷営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体をひぼう・中傷するものは掲載できません▷投書を添削することがあります。
◆あて先 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報管理担当へ。